

株式会社4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2026 年 4 月 10 日

(証券コード:8008 東証プライム市場)

2026 年 2 月期決算概要

- ・ 連結業績は、2 期連続増収、営業利益は 2 期ぶりの増益、当期純利益は 3 期連続の増益。売上高は、2006 年 HD 体制以降過去最高を更新。
- ・ ブランド事業は大幅増収増益。FDC プロダクツグループは、マーチャンダイジング(MD)改革により、第 4 四半期から回復基調。㈱羅針は、既存店の伸長や、出店効果により売上高が大幅拡大。
- ・ アパレル事業は増収減益。アスティグループは、海外サプライチェーンの優位性により主力取引先からの受注が拡大。デイリーファッション「パレット」は、気候変動への対応不足により利益面で苦戦、一方、既存店売上高は 6 期連続で伸長。
- ・ 株主還元方針として、DOE(株主資本配当率)4%以上を目安に、安定的・継続的な配当の実施と自己株式の取得により、総還元性向の水準向上に努める。
- ・ 年間配当は 83 円を予定。次期は 2 円増配し、85 円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2026 年 2 月期決算(2025 年 3 月 1 日から 2026 年 2 月 28 日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況(累計)

| (百万円、%) | 2025 年 2 月期 | 2026 年 2 月期 | 前期比 |
|-------------------------|-------------|-------------|--------|
| 売 上 高 | 45,902 | 69,962 | +52.4% |
| 営 業 利 益 | 1,960 | 2,802 | +43.0% |
| 経 常 利 益 | 2,351 | 3,164 | +34.6% |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 1,377 | 1,792 | +30.1% |

1 株当たり当期純利益 83 円 46 銭(前期 64 円 18 銭)

期中平均株式数(連結) 21,472,590 株

のれん償却前営業利益 4,059 百万円(前期 2,645 百万円)

流通業界におきましては、株価の堅調な推移を背景とした富裕層による高額品需要が拡大する一方、物価高騰に対して賃金の上昇が追い付かない状況が続き、節約・低価格志向が根

本 社： 東京都品川区上大崎二丁目 19 番 10 号
設 立： 1950 年 5 月
資 本 金： 24 億 8,652 万円
事 業 内 容： 「4°C」を中心としたジュエリーSPA 及び高級ブランド時計のリユース販売を行うブランド事業、アパレル OEM・ODM 及びデイリーファッション「パレット」をチェーン展開するアパレル事業
ウェブ サイト： <https://yondoshi.co.jp/>
問 い 合 わ せ 先： (株)4°Cホールディングス 経営企画室
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-4462
e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

強く、消費の二極化が進行しました。また、為替動向や国際情勢の影響もあり、百貨店等のインバウンド需要には一部弱さもみられる状況となりました。

このような状況のもと、当期の連結業績は、前第 4 四半期より連結した(株)羅針が通年寄与したこともあり、売上高 699 億 62 百万円(前期比 52.4%増)、営業利益 28 億 2 百万円(前期比 43.0%増)、経常利益 31 億 64 百万円(前期比 34.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 17 億 92 百万円(前期比 30.1%増)となりました。

■ブランド事業

売上高 453 億 46 百万円 (前期比 109.2%増)

営業利益 28 億 59 百万円 (前期比 89.5%増)

「4℃」ブランドを中心にジュエリーSPAを展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性客の支持拡大に向けたマーチャндаイジング(MD)改革および価格政策に取り組んだ結果、既存店売上高は第4四半期以降、回復基調に転じました。

また、前第4四半期より連結した高級ブランド時計のリユース販売を手がける(株)羅針では、グループの財務基盤を活かした商品ラインナップの拡充による既存店の伸長や、新宿店の出店効果もあり、売上高が大幅に拡大いたしました。

■アパレル事業

売上高 246 億 15 百万円 (前期比 1.6%増)

営業利益 9 億 96 百万円 (前期比 2.4%減)

アスティグループは、海外サプライチェーンの優位性により主力取引先からの受注が拡大し、売上高・利益ともに伸長いたしました。

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、気候変動への対応不足や収益店舗の退店により、利益面で苦戦いたしました。一方、既存店売上高は6期連続で伸長いたしました。

2) 次期の連結業績見通し

| (百万円、%) | 2026 年 2 月期 (実績) | 2027 年 2 月期 (予想) | 前期比 |
|-------------------------|---------------------|---------------------|--------|
| 売 上 高 | 69,962 | 72,000 | +2.9% |
| 営 業 利 益 | 2,802 | 3,600 | +28.4% |
| 経 常 利 益 | 3,164 | 3,900 | +23.2% |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 1,792 | 2,300 | +28.3% |

1株当たり予想当期純利益(通期) 107 円 11 銭

期中平均株式数(連結) 21,472,590 株

のれん償却前1株当たり予想当期純利益(通期) 154 円 00 銭

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期・次期の配当

| 年間配当金 | | | | | |
|-----------------|----------|----------|----------|-------|-------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025 年 2 月期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 |
| 2026 年 2 月期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 |
| 2027 年 2 月期(予想) | | 42.50 | — | 42.50 | 85.00 |

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけております。その基本方針として、安定的かつ継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を通じて、総還元性向の水準向上に努めてまいります。また、株主還元を測る重要な指標としてDOE 4%以上を目標に掲げ、将来的には1株当たり年間配当100円の実現を目指しています。

こうした方針のもと、2026年2月期の期末配当は、1株当たり41円50銭、中間と合わせて83円となります。次期の配当は、中間・期末ともに1株あたり42円50銭、年間で2円増配の85円を予定しております。

以上